

## 平成 21 年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	伊万里市立伊万里中学校		
2 所在地	伊万里市立花 4 0 6 3 番地 1		
3 校長名	杉原 豊秋		
4 学級数 児童生徒数	1 5 学級 5 4 4 人	5 実施学年 児童生徒数	3 年 2 1 人

### 6 取組のねらい

- ・ ユニバーサルデザインについて理解する。
- ・ 調べたことをもとに自分たちの生活を見直す。
- ・ UDの商品だけでなく、さまざまな人の立場にたって物事をとらえ、一人一人がユニバーサルデザインの心をもって生活していくことの大切さを知る。

### 7 取組の実際

#### (1) UDについての調査活動

図書室，伊万里市民図書館，インターネット等による調査。

嬉野高校生活福祉系列の出前講座

- ・ 紙芝居，パワーポイントによるユニバーサルデザインの研修を受ける。  
(シャンプーとリンスの違いやUD商品のはさみや皿の使い易さを実際に体験した。また，ピクトグラムのことを知る)



#### (2) 他の人の立場になって，物事を考える

- ・ 駅や図書館，市民センター等へ行き点字ブロックがどの周辺まで整備されているかその他，多くの人々が利用しやすく工夫されている所など調査。
- ・ 高齢者疑似体験を通して，高齢者の体験をする。

(階段の上り下り。ペットボトルのフタを開けコップに水を注ぐ。辞書を引く意味を調べる。新聞を読む。などさまざまな課題を与え高齢者の気持ちになって体験させた。ここではUD商品のペットボトルも使用)



- ・市内の視覚障害者の会が主催した「白い杖で街を歩こう会」に参加し、障害者との交流を図ると共に、バリアフリーなどについて考えた。



(3) UDのアイデア作品制作やUD作文等によって、保護者や地域の方などに啓発活動をする。

- ・文化発表会を通して、作品を紹介する予定だったが、インフルエンザのため中止になりUD作品の啓発はできていない。午前中だけ開催した発表会では、個人のまとめたレポートを掲示し、手話ソングをステージで発表した。
- ・佐賀県こどもUD作品コンクールに出展した。

## 8 取組の成果と課題

### (1) 成果

- ・UDをまったく知らなかった生徒たちが、ユニバーサルデザインの意味を理解し、身近なものをUDの視点でみることができるようになった。
- ・福祉への関心が高まり、高齢者やさまざまな人たちの立場について理解が深まった
- ・一人一人が思いやりの心をもって生活していかなければならないという意識が芽生えた。

### (2) 課題

- ・自分たちの住む地域や学校など、色々な人の立場から考えたまちづくりの提案やUDの啓発活動の工夫